

様式1

令和6年度 山口県立宇部商業学校 学校評価書 校長(久保田 力哉)

1 スクール・ミッション、学校教育目標	
地域・社会や地元企業と連携・協働した実践的・体験的な教育活動や、ビジネスに関する課題を自ら考え、解決する学びなどを通して、豊かな人間性や社会性、ビジネスマナーを備え、社会の変化に対応しながら、地域・社会や地域産業を担う人材を育成します。	

2 スクール・ポリシー	
<b>グラデュエーション・ポリシー</b> (育成をめざす資質・能力に関する方針)	①ビジネスを通して、地域産業に貢献しながら、経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を有する生徒を育成します。 ②基本的な生活習慣を身に付け、健やかな心身を育むとともに、潤いのある人生を築くことができる生徒を育成します。 ③学業、部活動、学校行事等を通して、知識や体力・技能の向上に努め、明るくたくましく生きることができる生徒を育成します。 ④学習した基礎・基本をもとにして、社会の変化に自ら対応することができる生徒を育成します。 ⑤勤労や奉仕の心を尊び、情操を育み、心豊かな生活を送ることができる生徒を育成します。
<b>カリキュラム・ポリシー</b> (教育課程の編成及び実施に関する方針)	①各教科・特別活動を通して、主体的・対話的で協働的な学びを実現します。 ②基礎学力の定着を図るとともに、学科の専門性を深化させ、個々の生徒の能力・適性に応じた社会に開かれた教育課程を実現します。 ③選択科目や少人数指導を設け、多様な進路希望に対応できる教育課程を編成します。 ④「宇部商コレクション」や「インターンシップ」などを通して、地元企業や関係機関と連携した体験的・実践的な学習活動を実施します。 (商業科) ・卸売・小売・製造・サービス・金融および会計のスペシャリストとして、ビジネスに役立つ人材をめざすことができる教育課程を編成します。 ・ビジネスの諸活動に関する幅広い知識や技術を身に付け、就職にも進学にも対応できる教育課程を編成します。 (総合情報科) ・情報処理やプログラミングの授業を通して、コンピュータやネットワークを活用する知識や技術を習得し、ICT活用のスペシャリストをめざすことができる教育課程を編成します。 ・ビジネスにおけるコンピュータの活用方法を身に付け、就職にも進学にも対応できる教育課程を編成します。
<b>アドミッション・ポリシー</b> (入学者の受け入れに関する方針)	①商業(ビジネス)活動に関する興味・関心と明確な目的意識をもち、何事にもひたむきに努力できる生徒を募集します。 ②基本的な生活習慣や規範意識等を身に付けた生徒を募集します。 ③学習や部活動、生徒会活動やボランティア活動等に積極的に取り組む生徒を募集します。 ④資格取得に挑戦し、自らすすんで自己の進路を切り開いていくことのできる生徒を募集します。 ⑤地域社会に貢献するために、自他の価値を尊重しながら、他者と協働的に取り組むことのできる生徒を募集します。

3 現状分析(前年度の評価と課題を踏まえて)	
【総務部】感染症予防に配慮しながら、教職員と保護者の共通理解と協働体制の確保を図り、学校行事の円滑な運営に寄与する。 【教務部】校務支援システムを中心とした教務に関する業務の安定した運用。そして、生徒の学習意欲の向上を図るための取り組みが必要である。 【生徒部】各種学校行事等を通して、互いを思いやる心や社会的絆を育むための体験活動等を行い、心の教育の充実を図る。アンケートや面談等によって生徒の実態把握を行い、校内だけでなく、外部とも連携した生徒の支援体制の構築を図る。生徒の基本的な生活習慣確立のため、教職員が統一した指導ができるよう、適宜共通理解の場を設け、継続した活動を行う。 【進路指導部】生徒の進路希望実現のため、インターンシップや進路ガイダンス、職場見学、進学希望者に向けては早い段階からの大学等の情報提供に努める等各種進路行事を計画・実施し、キャリア教育の充実を図るとともに、地域と連携し、地元で活躍する人材の育成を図る。 【保健体育部】基礎体力の向上を図り、体育行事を安全に行う。また、生徒自身による健康管理の徹底や定期健康診断後の事後措置の取り組みを徹底させる。 【商業】急速な社会状況の変化への対応力を授業や学校行事を通して育成する。そのためどのような取り組みが必要か検討し、発展させていく。また、平時の授業や資格取得をととして生徒の専門性を高める。生徒の学習意欲向上のための取り組みを推進する。 【情報】ICT関連の(タブレット・フルクラウド化等)適切な運用・管理及びWeb等を活用した魅力的な情報発信。 【業務改善】組織としての協働体制を確立し、効率的な業務遂行を行うことで、働き方改革を推進し、生徒を支援する時間の確保及び教職員のワークライフ・バランスの実現に努める。 【全般】ICTの効果的な活用や授業改善等による学習指導の充実、資格取得の指導の充実により、生徒の自ら学ぶ力を育み、商業高校の生徒としての専門性を高める。また、体験的活動や問題解決型学習及び学校行事等を通して生徒の規範意識の醸成や主体性を育む教育活動を推進する。	

4 本年度重点を置いて目指す成果・特色、取り組むべき課題	
1 学習指導の改善・充実 … ICTの積極的な活用 2 規範意識の醸成 … 気持ちのよい挨拶・掃除の励行 3 開かれた学校づくりの推進 … 積極的な情報発信 4 地域連携教育の推進 … 豊かな体験活動・地域行事への参画等 チャレンジ目標……①気持ちのよい挨拶を行い、相手を思いやり、活気ある学校を創ろう。 ②ゴミをなくし、美しい学習環境を整えよう。 ③「～思いを夢へ、夢を志へ～」を実現させよう。	

5 自己評価					6 学校関係者評価		
評価領域	重点目標	具体的方策(教育活動)	評価基準	達成度	重点目標の達成状況の診断・分析	学校関係者からの意見・要望等	評価
総務部	○学校行事の円滑な運営	・教職員の共通理解に基づく学校行事の計画・立案・準備を行う。	学校評価アンケートにおいて、学校行事に関する項目について肯定的意見 4:90%以上 3:80%~89% 2:70%~79% 1:69%以下				
	○学校とPTAとの密接な連携	・「PTA会報」(年2回発行)によって保護者と学校の連携を図る。 ・PTA総会やPTA評議員会(年3回実施)、PTA研修会等によって保護者の意向を把握し、教職員へ伝達する。	4:PTAの学校行事出席率が70%以上 3:PTAの学校行事出席率が50%以上 2:PTAの学校行事出席率が30%以上 1:PTAの学校行事出席率が30%未満				
	○「豊かな心を育む教育」を推進するための適切な図書館運営や読書指導	・「図書だより」を充実させる。 ・校内読書会等を開催し、読書への興味を持たせる。 ・図書室を整備し、利用の機会を広げる。 ・生徒が意欲的、主体的に委員会活動に参加できるように取り組む。	4:生徒の年間貸出冊数が300冊以上 3:生徒の年間貸出冊数が200冊以上 2:生徒の年間貸出冊数が100冊以上 1:生徒の年間貸出冊数が99冊以下				
教務部	○基本的な生活習慣の確立と落ち着いた学習できる環境づくりの推進	・朝の学習や10分間テストに取り組ませる。 ・行事等の精選や学習環境の整備を図り、落ち着いた授業に取り組ませる。	学校評価アンケートにおいて、朝の学習や10分間テストの項目について肯定的意見 4:80%以上 3:65~79% 2:50~64% 1:50%未満				
	○基礎基本の充実を図り、目的意識をもち意欲的に学習活動に取り組む態度と知識を活用する実践力の育成	・生徒が意欲的に学習活動に取り組む、知識をもとに活用できる力を養えるような授業を展開する。 ・授業アンケート等を実施し、教材や授業の改善を行う。	学校評価アンケートにおいて、教育課程や学習指導に関する項目について肯定的意見 4:80%以上 3:70~79% 2:60~69% 1:59%未満				
	○家庭や部活動との連携のとれた学習活動の促進	・家庭学習に対する意欲を高める。 ・授業の復習に重点を置いた学習課題を課す。 ・保護者の協力を求める。 ・部活動の協力を求める。	学校評価アンケートにおいて、家庭学習に関する項目について肯定的な意見 4:60%以上 3:50~59% 2:40~49% 1:40%未満				

生徒部	○基本的な生活習慣の確立	・挨拶運動、生活指導(講話、頭髪服装検査など)を通じて礼儀正しさや、時と場に応じた身だしなみや行動がとれるようにする。	学校評価アンケートの基本的な生活習慣に関する項目について肯定的意見 4 90%以上 3 80%~89% 2 70~79% 1 69%以下			
	○問題行動の未然防止、及び問題行動件数の減少	・各種講話や学校行事を通じた開発的生徒指導を行う。 ・学年、教育相談、いじめ対策委員会などにおける情報共有を密に行い早期対応を心掛ける。	年間を通じて、生徒指導上の問題行動 4 10件未満 3 10件~20件 2 21件~30件 1 30件以上			
	○交通安全の意識啓発やマナー指導	・交通安全教室の実施により、生徒の交通安全に対する意識を高める。 ・毎朝の立哨指導により、生徒の安全確保に努める。	交通事故件数が年間 4 5件未満 3 5件~10件 2 11件~15件 1 16件以上			
	○学校不適応等の問題を抱える生徒への支援。教員やカウンセラーの相談体制の整備。	・個別の事案に対して支援・対応策を、事例検討会や生徒支援委員会等で検討する。 ・学年やスクールカウンセラー等との連携を密にし、早期対応に努める。	学校評価アンケートの悩みや困ったことを教員やスクールカウンセラーに相談できることについて肯定的意見 4 90%以上 3 80%~89% 2 70~79% 1 69%以下			
	○人権教育や命の大切さなどの心の教育を行い、いじめの未然防止に努める。	・LHRや授業において人権教育を行い、人権課題について自ら考え、解決しようとする態度を育成する。 ・講演会等を開催し、人間のあるべき態度を育成する。 ・校内人権教育研修会及び人権教育委員会を開催し、校内の人権課題の解決に取り組む。	学校評価アンケートの人権教育の項目について、肯定的意見 4 90%以上 3 80%~89% 2 70~79% 1 69%以下			
進路指導部	○就職希望者に対する進路指導の充実と希望進路の実現	・生徒の発達段階に応じて、インターシップや進路ガイダンス、職場見学等の進路行事を実施する。 ・各分掌、各教科、各部活動と連携し、ICTを活用してキャリア教育の充実を図る。 ・公務員志望者に向けて、公務員ガイダンスやセミナーを早期から計画的に実施する。	4 就職希望者の内定率80%以上 3 就職希望者の内定率70%以上 2 就職希望者の内定率60%以上 1 就職希望者の内定率60%未満			
	○進学希望者に対する進路指導の充実と希望進路の実現	・進路希望調査や進路面接等を計画的に実施し、自らの適性に気づかせ、進路先の早期決定を促す。 ・生徒自ら進路選択ができるよう、早い段階から進学情報を適宜提供する。 ・進学希望者に向けて小論文模試等を実施する。	4 進学希望者の希望先合格率80%以上 3 就職希望者の希望先合格率70%以上 2 就職希望者の希望先合格率60%以上 1 就職希望者の希望先合格率60%未満			
保健体育部	○体力の維持向上を目指す指導の充実	・各種目のスポーツ活動を奨励し、基礎体力の向上を図る。 ・授業内での補強運動(筋力・瞬発力)を改善し、新体力テストの筋パワーを向上させる。 ※筋パワー学校全体Tスコア 45.4(R5)	新体力テスト(筋パワー)の結果 4:Tスコア50以上 3:Tスコア47以上 2:Tスコア45以上 1:Tスコア45未満			
	○集団行動の実践	・「敏速・正確・安全」を旨とする集団行動を実践する。 ・傾聴力(聞く力・理解して行動する力)を向上させることで、規範意識を醸成する。	学校評価アンケートにおいて、1年間の健康(安全)に関する項目について肯定的な意見 4:80%以上 3:70~79% 2:60~69% 1:59%未満			
	○健康・安全教育の推進	・定期健康診断の事後措置の徹底を図る。 ・健康な心身・疾病・事故・災害についての基礎知識を養成する。	定期健康診断後の再受診率 4:90%以上 3:70~89% 2:50~69% 1:50%未満			
情報部	○積極的な情報発信	・個人情報に配慮しながら、公式Webサイト等を利用し、魅力ある学校情報を適正に発信する。	4:公式Webサイトの等の月間更新回数が5回以上 3:公式Webサイトの等の月間更新回数が4回以上 2:公式Webサイトの等の月間更新回数が3回以上 1:公式Webサイトの等の月間更新回数が3回未満			
商業	○社会への対応力(ビジネスマナーやコミュニケーション能力など)の習得	・授業や学校行事を通じ、コミュニケーション能力や挨拶の重要性を理解させ、日頃から実践できるようにする。 ・学部商コレクション、インターシップなどの学校行事を通じ、ビジネスマナーの習得やコミュニケーション能力の向上など社会への対応力を身に付けさせる。	学校評価アンケートにおいて、「挨拶や言葉遣い、マナーなど社会人として必要な資質」の項目について、肯定的な意見 4 生徒 肯定的意見90%以上 3 生徒 肯定的意見80%以上 2 生徒 肯定的意見70%以上 1 生徒 肯定的意見69%以下			
	○平時の授業や資格取得をとおして生徒の専門性を高める	・自ら学ぶ意欲を向上させ、学習した内容の定着、深化を図るため、各種検定試験の受験を促す。 ・学習意欲を喚起するとともに、将来の目標を明確にさせる。 ・全商3種目以上1級合格者30名以上を目指す。	学校評価アンケートにおいて、「本校は、生徒の理解度に合った学習指導を行っている」の項目について肯定的な意見 4 生徒 肯定的意見90%以上 3 生徒 肯定的意見80%以上 2 生徒 肯定的意見70%以上 1 生徒 肯定的意見69%以下			
業務改善	・教員の業務時間への意識改革と時間外在校等時間の削減	・ICTの活用等による業務の効率化・負担軽減。 ・ノー残業デーの設定や留守番電話の活用により、早期帰宅の呼びかけを行う。 ・部活動運営方針に沿った適切な部活動指導(適切な休養日と活動時間の設定)。	4:時間外在校時間が、前年度比6%以上減少。 3:時間外在校時間が、前年度比4%以上減少。 2:時間外在校時間が、前年度比2%以上減少。 1:時間外在校時間が、前年度比2%未満減少。			